

令和6年度 アストロミニキャンプ小仲台 園の自己評価

R6 年度

	自己評価の観点	自己評価の視点	評価
I 保育理念	子どもの最善の利益の考慮		
	① 子どもの人権の尊重 ② 保育方針・保育目標	○ 子ども一人一人の違いや思いを受け止め、自ら育つ権利を平等に尊重しているか。 ○ 保育方針を基本に、保育所の地域性や、家庭状況などの実態を踏まえ、明日を生きる力と豊かな人間性の基礎を培う目標になっているか。	B 保育理念【つながる保育 つなげる心】において、保育者の連携（引継ぎ）を大切に、保護者と情報交換を実施しながら保育する事ができた。
II 子どもの発達援助	1 子どもの福祉を推進することに最もふさわしい生活の場		
	① 健康・安全で心地よい生活	○ 子どもの生活リズムを大切にし、健康、安全で情緒の安定した生活が出来る環境を整えているか。 ○ 子どもが自発的、意欲的にかかわれるような環境を構成し、主体的な生活ができる場になっているか。 ○ 子どもは大人によって生命を守られ、愛され、信頼されることにより、情緒が安定するとともに、人への信頼感、自己肯定感が育つ。そのための環境を整えているか。	B 整えている。子どもの成長に合わせ生活の流れをその都度見直していく。 C 子どもの発達に合った環境構成を進んでできるように指導していく必要がある。 B 子どもの気持ちを汲みとりながら対応できた。
	2 生活と発達の連続性		
	① 子ども観、発達観の理解と共有 ② 発達過程に応じた保育 ③ 個人差への配慮 ④ 生活の連続性	○ 目指す子ども像及び発達観を理解し、共有しているか。 ○ 子どもの発達や特性を理解し、発達過程に応じた生活の連続性に配慮した保育をしているか。 ○ 子どもの発達の特性とその道筋を十分理解し、一人一人に応じ、見通しを持った保育をしているか。 ○ 保育時間などの違いに配慮するとともに、家庭との連携を視野に入れた保育をしているか。	B 個人票や昼MTGを基に共通理解して対応した。 B 日課通りに過ごし、発達に応じて日課を変更した。 B 個々の発達に沿った対応ができた。 B それぞれの家庭に配慮しつつ連携を保つ事ができた。
	3 養護と教育の一体的展開		
	① 主に乳児保育における養護と教育の一体的展開	○ 保育士等が子ども主体として尊重し、その命を守り、情緒の安定を図りつつ乳幼児期にふさわしい経験が積み重ねられていくように援助しているか。 ○ 一人ひとりの発育及び発達状態や健康状態について適切な判断に基づく保健的な対応をしているか。 ○ 一人ひとりの成育歴に留意しつつ、欲求を適切に満たし、特定の保育士が応答的に関わっているか。	B 子どもの声や思いを丁寧に受け止めながら関わる事ができた。 B 健康状態について気になる時は保護者や、園医（健康診断時）、園長に相談しながら対応してきた。日々の視診を丁寧に、早期発見に務めた。 B 担当制を導入しつつ、それぞれの子どもの情報を共有しながら関わった。不足がある場合は他者がフォローした。

<p>II 子 ど も の 発 達 援 助</p>	<p>② 主に2, 3歳児の保育における養護と教育の一体的展開</p> <p>③ 主に3, 4, 5歳児の保育における養護と教育の一体的展開</p> <p>④ 保育の実施に関して留意すべき事項</p> <p>4 環境を通して行う保育</p> <p>① 保育の環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人的環境 ・ 物的環境 ・ 空間 ・ 自然や社会事象等 <p>② 環境の構成・再構成</p>	<p>○ 3つの視点をもとに養護・教育の一体性を意識して保育をしているか。</p> <p>○ 探索活動が十分にできるように、事故防止に努めながら活動しやすい環境を整え、全身を使う遊びなど様々な遊びをとりいれているか。</p> <p>○ 自我の発達を促し自己主張を受け止め、子どもの気持ちに沿った保育をしているか</p> <p>○ 子どもの情緒が安定し、自己を十分に発揮した活動を通して、やり遂げる喜びや自信を持つことが出来るように配慮しているか。</p> <p>○ 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を意識して保育しているか。</p> <p>○ 保育所保育と小学校教育との円滑な接続を図るように努めているか。</p> <p>○ 子どもが人と関わる力を育てていくため、子ども自らが周囲の子どもや大人と関わっていくことが出来る環境が整っているか。</p> <p>○ 子どもの活動が豊かに展開されるよう、保育所の設備や環境を整え、保育所の護憲的環境や安全の確保などに努めているか。</p> <p>○ 保育室は、あたたかな親しみとくつろぎの場となるとともに、生き生きと活動できる場となるように配慮しているか。</p> <p>○ 命、自然及び社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな信条や思考力の芽生えを培うことができているか。</p> <p>○ 人、モノ、場等の環境が相互に関連しあい、子どもの生活が豊かなものとなるよう計画的に構成し実践、評価したうえで、再構成した環境の中で保育をしているか。</p> <p>○ 子どもの気づき、発想や工夫を大切にしながら、子どもとともに環境の再構成をしているか。</p>	<p>B 0歳児の預かりはない。養護と教育の一体性を意識し、月案に落とし込んだ。</p> <p>B 保育の目的によって公園を選んで遊びながら体験できるように配慮していた。</p> <p>B 難しい時は、複数人で対応するなど保育者全員で子どもの気持ちを受け止め対応できた。</p> <p>B 月案に組み込み、乳児なので可能な範囲で意識した。</p> <p>B リトミックや園庭遊びを通してグループ園との交流をした。小さな環境から少しずつ大人数に慣れる環境を作るようにしてきた。</p> <p>B 定期的に環境設定を見直した。室内での大きな怪我が少なかった。</p> <p>C スペースの関係上、体を動かすコーナーを作ると、絵本コーナー（くつろぎコーナー）を用意するのが難しかった。</p> <p>C 戸外活動中に見つけた自然物に興味を持ち、図鑑で調べる子がいた。虫の飼育経験をする事ができなかったので次年度は蝶々になるまでの観察をさせてあげたい。</p> <p>B 子どもの成長に合わせて玩具やレイアウト変更など見直ししている。</p> <p>B 子どもの発言（きのこ）を汲み取って、保育につなげる事ができた。</p>
<p>III 子 育 て 支 援</p>	<p>1 家庭との緊密な連携</p> <p>① こどもの成長の喜びを共有</p> <p>② 保育内容の説明・応答責任</p>	<p>○ 一人一人の保護者と日常的な情報交換に加え、個人面談等を行っているか。</p> <p>○ 保護者に対し、保育所における子どもの様子や日々の保育の意図などを説明し保護者との相互理解を図るように努めているか。</p> <p>○ 保護者の考えや提案を積極的に聞き、適切と思われるものについては、保育に取り込むように努めているか。</p>	<p>B 個人面談は実施済み。日々のお迎え時にも様子をたくさん伝える事ができた。</p> <p>B 登降園時に積極的に会話をした。お便りや保護者会などで伝えるが、人により忘れてしまう方がいる。DMTやGoogleフォトに入れる等保護者へ伝わるよう改善してきた。</p> <p>B 努める事ができた。保護者から水道の水の量について意見をいただき、改善した。</p>

<p>III 子育て支援</p>	<p>③ 子育てに関する相談援助</p> <p>④ 保護者への個別支援</p> <p>2 地域における子育て支援</p> <p>① 保育所機能の開放</p> <p>② 関係機関との連携</p> <p>③ 情報提供</p>	<p>○ 保護者の気持ちを受け止め、相談・援助に当たっては相互の信頼関係を基本に各家庭の実態を踏まえ、保護者自身の主体性、自己決定を尊重しているか。</p> <p>○ 保護者と子どもの状況(障害、発達上の課題、外国籍等を含む)を踏まえ、組織として子どもや家庭を援助する体制づくりを行っているか。</p> <p>○ 保護者に育児不安等が見られる場合には、子どもの最善の利益を重視した個別の支援を行うよう努めているか。</p> <p>○ 子育て家庭への施設及び設備の開放、体験保育など保育所機能の開放をしているか。</p> <p>○ 育児相談や交流の場の提供など、地域の子育て家庭の支援を行っているか。</p> <p>○ 地域の関係機関、団体等との積極的連携及び協働し、子育て支援に関わる地域の人材の積極的な活用を図るよう努めているか。</p> <p>○ 地域における保育に関する情報を常に把握し、子育て支援に関する情報を保護者に適切に提供しているか。</p>	<p>B 保護者が意思決定できるように気を付けた。回答を聞きたい方もいたので選択できるようアドバイスした。</p> <p>B 子どもが理解しやすいように聴覚や視覚で刺激するよう環境を整えた。</p> <p>B 悩みを持つ保護者はこまめに会話する機会を設けた。</p> <p>D 解放できていない。</p> <p>B 園見学や公園で会った際に会話した。玄関に相談できると掲示した。</p> <p>B 子どもの発達に悩んでいる保護者に対して、保健福祉センターへ相談するようすすめた。</p> <p>B 地域のイベントなどコドモンや玄関に掲示して提供でした。</p>
<p>IV 保育を支える組織的基盤</p>	<p>1 健康及び安全の実施体制</p> <p>① 健康の保持及び増進</p> <p>② 安全・衛生管理</p>	<p>○ 子どもの健康に関する保健計画を作成し、全職員がそのねらいや内容を明確にしながら一人一人の健康保持及び増進に努めているか。</p> <p>○ 登降所時や保育中の子どもの健康管理はマニュアルがあり、子ども一人一人の健康状態並びに発育、発達状態を把握し、健康管理を実施しているか。</p> <p>○ 入所児童の健康診断の結果について保護者や職員に周知するとともに日々の保育に反映させているか。</p> <p>○ 感染症の予防に努め、必要に応じてその情報や対策を保護者に知らせているか。</p> <p>○ アレルギー疾患を持つ子どもの状況に応じて適切な対応を行っているか。</p> <p>○ 疾病の疑いや障害、不適切な養育などが疑われる場合、保護者や嘱託医などの関係機関と連携し、適切な対応をしているか。</p> <p>○ 施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具などの衛生管理に努めているか。</p>	<p>B 委員会活動を通して全職員に周知して実行できた。</p> <p>B マニュアルに沿った健康管理を実施。観察チェックボードに細かなその日の状態を記入し共通理解し保育にあたった。</p> <p>B 周知している。</p> <p>B 周知し、園内消毒を徹底した。</p> <p>該当なし。</p> <p>B 疾病の疑いでは保護者にその都度連絡をした。手洗いを徹底する事で蔓延する事はなかった。</p> <p>C 適切な状態に努めた。窓を常に開けているため、湿度が足りない為、バスタオルを濡らして室内干しをした。</p>

IV 保育を支える組織的基盤	③ 災害への備え	○ 衛生面や安全性に配慮し、給食を提供しているか。	B 配膳時は三角巾・割烹着・マスクを着用した。中間温度を計測したり衛生面に配慮した。
		○ 子ども及び職員の衛生管理を適切に実施しているか。	B チェックリストを使用しながら適切に実施した。
		○ 事故発生に備え、施設内外の危険個所の点検や訓練を実施し、安全対策の為に体制が周知、徹底されているか。	B 月に1回以上訓練などを実施している。
	④ 家庭や保健・医療機関との連携	○ 定期的に防災設備、避難経路の点検を行い、安全環境の設備に努めているか。	B 避難訓練の際に実施している。
		○ 災害発生時に子どもの引き渡しを円滑に行うため、日ごろから保護者と連絡体制や引き渡し方法等について確認しているか。	B 伝言ダイヤルや引き渡し訓練などで確認済み。
		○ 地域の関係機関と日常的に連携を図り、必要な協力が得られるよう努めているか。	B 気になる園児は保健福祉センターへ相談するようすすめた。
	⑤ 食育の推進	○ 健康で安全な子どもの生活を確立するために保護者と常に密接な連携を図り、家庭での子どもの生活実態把握など情報収集しているか。	B 睡眠や食事の様子を登降園時に聞き取り、個別に対応することができた。
		○ こどもの健康と安全、食生活や食育に関する活動については保育所から家庭に情報提供をしているか。	B おたよりや保育DMTなどを通して情報提供に努めた。
		○ 保育所における食育は、健康な生活の基本としての「食を育む力」の育成であることを全職員が理解して進めているか。	B 年間計画をもとに理解している。
	2 職員の資質向上	① 保育の計画	○ 食育計画に基づき保育の実践・評価を行い、改善を図っているか。
○ 0歳から3歳まで一貫性を持った保育課程を作成しているか。			B 作成している。全体計画は保育資料や入園のしおりにも記載し周知している。
○ 保育の計画が保育の基本方針に基づいているか。			B 基づいている。
② 保育士等の自己評価	○ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき指導計画を見直しているか。	B 実施している。年間計画は3か月に1回、月案は毎月振り返り、次月にいかしている。	
	○ 保育士等は自らの保育実践を振り返り評価し、専門性の向上や改善に努めているか。	B CAN-PATHの評価制度を通して振り返り、保育の質の向上に努めている。	
	○ 保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、定期的に保育所の自己評価を行い、改善を図っているか。	C 年度末、職員と会議の中で振り返り、次年度にいかすようにしている。	
④ 研修	○ 学びあう環境を醸成していくことにより、保育所の活性化を図っているか。	B 積極的に外部研修に参加している。多くの研修に参加できた。	
	○ 研修の成果を日常の保育に活かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○B 学んできた内容を1つは保育の中でいかすように努めた。	
	○ 全体的な計画につながる研修をしているか。	B 内部研修の年間計画に沿って、実施する事ができた。	

<p>3 運営・管理・社会的責任</p> <p>① 法令等の遵守</p> <p>② 個人情報の取り扱いと苦情解決の責任</p> <p>③ 施設長の責務</p>	<p>○ 保育所運営管理に必要な法令を理解し、遵守しているか。</p> <p>○ 保育所の子どもの人権が守られているか。</p> <p>○ 個人情報について、適切な取り扱いをしているか。</p> <p>○ 苦情解決の仕組みを保護者等に周知する取り組みが行われ、機能しているか。</p> <p>○ 利用者からの苦情・要望に対して迅速に対応しているか。</p> <p>○ 保育所の保育理念及び基本方針は明文化しているか。</p> <p>○ 保育理念や基本方針は職員、保護者、関係者に周知しているか。</p> <p>○ 保護者や地域に対して、保育を理解してもらうための説明責任を果たしているか。</p> <p>○ 所内研修を充実させるとともに外部研修への参加の機会を確保し、組織として保育の質の向上を図っているか。</p> <p>○ 職務内容や経験に合わせた人材育成をしているか。</p> <p>○ 職員のメンタルケアを日ごろから意識して行っているか。</p>	<p>B 遵守している。</p> <p>B 一人の人として尊重しながら接している。保護者へも伝わっている。（手紙をいただいた）</p> <p>B 玄関先はマークを使うなど努めた。保護者との会話の中で情報漏洩がないように意識した。</p> <p>B 保護者説明会で伝えたり、入園のしおりに記載、玄関先に掲示した。</p> <p>B 可能な範囲の要望には対応している。</p> <p>B 入園のしおりや園パンフレットに記載。おたよりに毎月記載。玄関に掲示した。</p> <p>B 玄関掲示し、誰でもわかりやすい状態である。</p> <p>C 保護者にたいしてはその都度説明している。地域に対してはしていない。</p> <p>B 外部研修や内部研修を取り入れ、保育の質の向上に努めている。</p> <p>B 経験年数に合わせた職務内容にできている。</p> <p>B 自ら声を掛けるよう意識して努めた。</p>
--	---	--

<評価の基準>

A：大変良い B：良い C：一部検討を要する D：改善を要する